

第三十五回歴史講演会

高貴なる明治

のぎ まれすけ

乃木希典



■明治37年、日本は当時世界一の陸軍国であったロシアと日露戦争を戦い勝利した。中でもロシア軍が「いかなる大敵が来ても3年は持ちこたえる」と豪語した難攻不落の要塞、旅順要塞を攻略し日本軍を勝利に導いたのが乃木希典大将であった。しかも、乃木大将は決して奢らず、敗戦の敵将ステッセルにも帯剣を許し、あくまでもロシア軍の名誉を重んじた武人であった。

■日露戦争後ポーランドでは子供に“ノギ”と名前を付け、トルコでは“ノギ通り”ができたほど、乃木大将は世界中の人々に尊敬され愛されたのである。

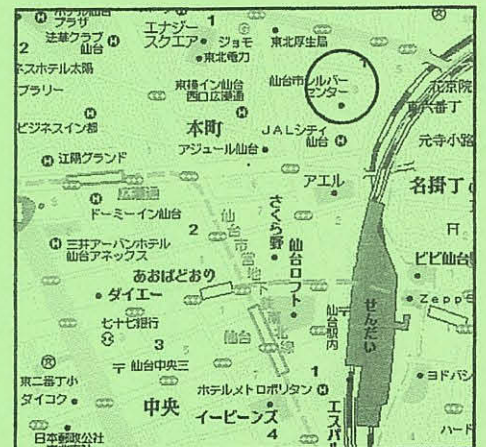


水師營の会見



おかだ みきひこ
講師 岡田幹彦氏
 (日本政策研究センター主任研究員)

- 昭和21年、北海道生まれ。國學院大学中退、学生時代より日本の歴史および人物について研究を続け、月刊『明日への選択』に「上杉鷹山」「勝海舟」等を連載するとともに、各地で講演活動を行っている。
- 現在、「元気のでのる歴史人物講座」を産経新聞に好評連載中。



と き 4月29日(木・祝) 午後2時～4時

と ころ 仙台市シルバーセンター6階・第2研修室

参加費 一般1,000円・学生無料

主 催 宮城ビジョンの会 TEL022(285)3383

後 援 宮城県教育委員会・産経新聞社東北総局・日本会議宮城県本部